

LT:Loggingのエージェントと LoggingAnalyticsのエージェントの話

自己紹介



名前 :
ササキ ケンセイ

理解できないもの :
ホラー映画の楽しみ方

嫌いな居酒屋 :
夫婦で営む居酒屋で奥さんだけホールに調理にフル回転で働かせる店。(旦那は常連とずっと談笑)

Q.



Q. OCIでLoggingとLogging Analyticsを使用しています。それぞれに、専用のエージェントを使用して仮想マシン上のログを収集する機能がありますが、どちらのエージェントを使うべきでしょうか。

解説：

Logging

OCI上のリソース（サブネットやロードバランサなど）のログの生成、視覚化するサービス。エージェントで仮想マシンのログも収集可能。

Logging Analytics

ログの収集、多彩な視覚化に加え機械学習の機能もついた、ログの分析を支援するサービス。
エージェントで仮想マシンのログも収集可能。



A.

A. LoggingAnalyticsエージェントを使用がおすすめ。

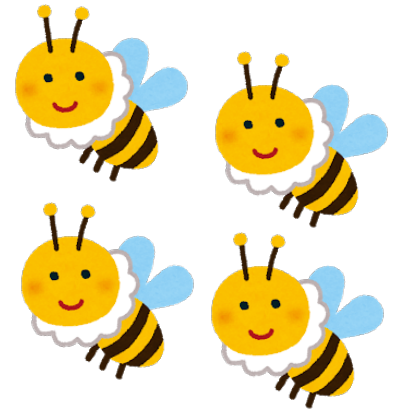


LoggingエージェントにはOCIコンソール上の設定では**回避できない問題**があり、回避するためには仮想マシン上の設定ファイルの修正が必要です。

解説：Loggingエージェントの問題

Loggingエージェントは以下のような問題があります。

- 1 Windowsのログ内の日本語が正しく表示されない。（エンコードの問題）
- 2 仮想マシンの時刻がUTC以外だと時刻がずれて扱われる、
例えばJST時刻をそのままUTC時刻として扱う。（都合9時間未来になる）



End.



LoggingとLoggingAnalyticsが今後どう棲み分けされていくのかに期待。
特にLogging側の機能の拡張や展開注目。(個人的に)



Loggingのエージェント(fluentdベース)は仮想マシン作成時にデフォルトでインストール済み。

OCIコンソールから設定できる範囲を開放してくれれば、時刻補正や日本語表示の問題も回避できる。



Loggingからオブジェクトストレージへの出力の制限(5クエリまで)や
Logging上のログの保管期間の制限(6ヶ月まで)を拡張してほしい。

並びに、Logging Analytics側にもLoggingエージェントで収集する
JSON形式のログのパースをOracleにプリセットとして用意して欲しい。